

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

金山町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福島県大沼郡金山町

3 地域再生計画の区域

福島県大沼郡金山町の全域

4 地域再生計画の目標

金山町は、福島県会津地方の西部「奥会津」と言われる地域に位置し、面積は約 294 km²でその約 9 割が山林です。また、日本有数の豪雪地帯で、かつては冬季間出稼ぎで町を離れる人も多くありました。町の南西部から中央部を只見川が流れ、只見川に沿うように J R 只見線が走っています。只見川には、野尻川、山入川、滝沢川、霧来沢など大小の支流が合流し、豊富な水量を誇ります。国の工業近代化による電力需要の増大に伴い、只見川を中心とした電源開発が行われ、鉱山の操業なども相まって町の人口は 1960 年には 10,000 人を超えました。その後、発電用ダムの完成や鉱山の閉鎖などを契機に人口は減少を続け、2022 年 1 月 1 日現在では 1,862 人まで減少しました。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2045 年には 837 人まで減少することが見込まれています。

自然増減では、1970 年以降、出生数が死亡数を下回る状態が続いています。特に 2004 年から 2017 年は出生数が 1 桁の状態が続き、死亡数は毎年 50～60 人程度で推移しました。2018 年度になると、出生数は 11 人と増加しましたが、死亡数も増加しており、楽観視はできません。2020 年には▲65 人の自然減となっています。

社会増減では 1960 年は転入数が転出数を上回る状態でしたが、以降、例外はあるものの、転入数が転出数を下回る状態が続いています。近年はその差が小さくなっていますが、依然として転出超過の状態です。2020 年には社会増減はありませんでしたが、例外的な年であり、全体として転出超過の状態です。

年齢3区分別の人口推移を国勢調査のデータで見ると、年少人口は1955年の3,510人から減少を続け、2020年には89人にまで減少しています。生産年齢人口も1960年の6,140人をピークに減少に転じ、2020年には638人にまで減少しています。また、老年人口は1955年以降増加していましたが、2005年の1,467人をピークに減少に転じ、2020年には1,134人となっています。今後も、それぞれ減少することが予測され、年少人口と生産年齢人口の減少を抑制できなければ、地域における担い手不足や産業の衰退、地域コミュニティの衰退等、様々な問題の加速が懸念されます。

これらの課題に対応するため、本計画期間中、人口減少対策に有効と考えられる分野を中心に次の4つの基本目標を掲げ、その達成に向けた具体的な施策を推進することによって、年少人口と生産年齢人口の減少を制御し、将来予測される人口減少を最小限にすることを目標に施策を推進していきます。

- ・基本目標1 後継者を育成し、特色を活かした産業をつくる
- ・基本目標2 つながり築き、新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標3 子育てしやすい環境をつくる
- ・基本目標4 健康で安心して暮らせる環境をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	地域資源を活かした新たな 就業・雇用者数	0人	10人(累計)	基本目標1
	地域特産農産物等の販売額	10.8百万円	13.0百万円	
イ	観光施設入込客数	143,446人	230,000人	基本目標2
	U I J (移住) ターン数	15人	60人(累計)	
	地域みらい留学生徒数	2人	40人(累計)	
ウ	出生数	4人	8人(平均)	基本目標3
	子育て世帯数	68世帯	80世帯	

エ	介護保険要介護率	21.0%	20.0%	基本目標 4
	空き家数	282軒	270軒	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

金山町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 後継者を育成し、特色を活かした産業をつくる事業

イ つながり築き、新しい人の流れをつくる事業

ウ 子育てしやすい環境をつくる事業

エ 健康で安心して暮らせる環境をつくる事業

② 事業の内容

ア 後継者を育成し、特色を活かした産業をつくる事業

地域の特色を活かした産業の構築と地域を支える農林水産業、商工業の承継等に取り組む事業。

《具体的な事業》

・農産物等生産性向上事業

・農産物6次産業化事業

・商工振興事業 等

イ つながり築き、新しい人の流れをつくる事業

地域の魅力を磨き、交流人口の増を狙う事業、UIJ（移住ターン）の促進と受入体制を整備する事業、地域の魅力発信力の強化を図る事業、地域留学の推進による川口高校生徒数の増を狙う事業、地域課題の解決等を通じた人材育成に資する事業。

《具体的な事業》

- ・インバウンド対応事業
- ・只見線活性化事業
- ・景観形成事業 等

ウ 子育てしやすい環境をつくる事業

結婚・出産・子育てに対する支援の強化、18歳までの教育環境の充実等を図る事業

《具体的な事業》

- ・放課後子どもクラブ事業
- ・地域一体型ふるさと教育事業
- ・延長保育事業 等

エ 健康で安心して暮らせる環境をつくる事業

住民の健康意識の向上を図り、高齢でも元気で活躍できるまちづくりを目指し、住みやすい生活環境を整え、利便性の向上につながる、地域住民の繋がりがあがる「支えあい」のまちづくりに資する、健康で安心して暮らせる環境をつくる事業。

《具体的な事業》

- ・健康教育・相談事業
- ・健康づくり事業
- ・空き家バンク事業 等

なお、詳細は第2期金山町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

15,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに金山町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで